

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T*	事業名
一般	10	01	03	0404	学力向上推進事業

事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返	<input type="checkbox"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------------------------------	-----------------

分野	担当部(機関)	担当課(機関)	担当係長	(内線)
人づくり	教育部	小中学校課	横手勝美	9-30-338

		25 年度	当初(現計)	補正	25 年度	26 年度
事業費		9,077				
財源内訳	国県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	9,077				

《事業目的》

児童・生徒の学力向上

《事業開始の背景》

児童生徒の学力向上を図るためには、少人数指導によるきめ細かな指導の充実と教師の授業力向上が必要であると考え、この事業を開始した。

《事業概要》

- はなまき授業サポーター  
児童の学力を向上させるための授業サポーターの配置 7校9人配置
- 学力向上支援  
外部講師による模範授業・講義の実施  
(小学校：国語及び算数を基本とし、毎年度1教科を実施)  
(中学校：国語・社会・数学・理科・英語を基本とし、毎年度2教科を実施)

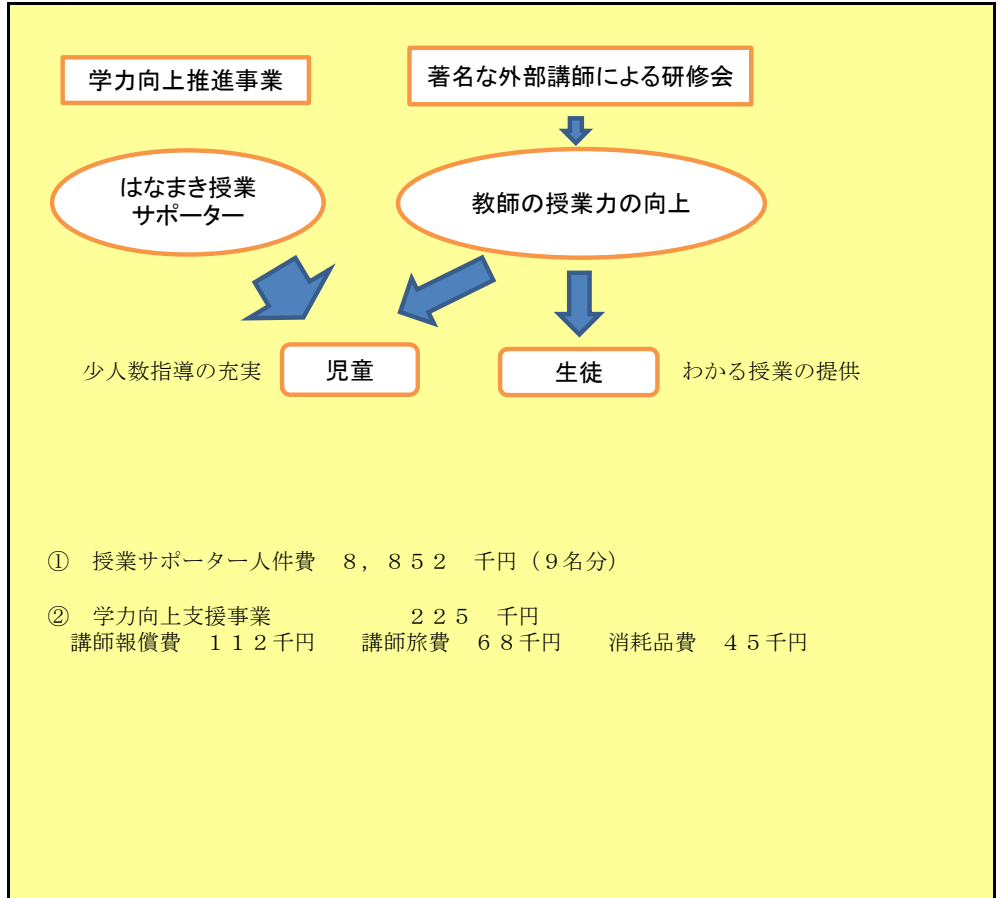
市民参画の有無 [ 対象外 ]

《事業展開の留意事項》

《成果指標》

項	目	単位	区分	24 年度(実績)	25 年度(実績)	26 年度(計画)
①	学習定着度状況調査の到達度(小学校)	%	目標	73.0	73.0	73.0
			実績	74.0	75.0	
②	学習定着度状況調査の到達度(中学校)	%	目標	63.0	63.0	63.0
			実績	58.0	60.0	
③			目標			
			実績			

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること



① 授業サポーター人件費 8,852 千円 (9名分)

② 学力向上支援事業 225 千円  
講師報償費 112 千円 講師旅費 68 千円 消耗品費 45 千円

学力向上推進事業(総括表)

平成 25 年度 事務事業マネジメントシート [ 事後評価 ]

会計	款	項	目	事業J-T	事業名
一般	10	01	03	0404	学力向上推進事業

総合計画	政策	地域で支える子育てと教育のまちづくり	施策	活力と特色ある学校教育の充実
	4		4-2	
目的	児童・生徒の学力向上			
対象	児童・生徒及び教員			
意図	児童に基礎的・基本的な知識及び技能を確実に修得させる。 教師に指導力・授業力を身につけさせる。			

《環境変化、意見・要望》…環境変化はないか？ 意見や要望が寄せられていないか？

学習指導要領の完全実施（小H23年度、中H24年度）により、知識及び技能の定着の他に、思考力・判断力・表現力の育成をめざした授業がもためられている。

目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	学力向上は本市の教育課題のひとつであり、本事業はその課題解決に大きく貢献している。
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	目標値のサポーターの人数を確保することにより、さらに少人数指導の充実が図られる余地がある。
効率性	<input type="checkbox"/> 事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> どちらも削減余地がない	授業サポーターに要する人件費及び学力向上支援事業の講師の謝金・旅費等であり削減の余地はない。
公平性	<input type="checkbox"/> 受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適正である	国・県による少人数指導加配と組み合わせて、各校に適正な配置を行っている。

《総合評価》…上記評価結果の総括

児童の人数が多い学級に授業サポーターを配置することで、国語と算数の少人数指導が充実し、意欲的に学習に取り組むとともに基礎基本の定着が図られた。また、外部講師を招聘した授業および講義を行うことで、受講後に自ら工夫し、言語活動を大切にした授業を展開する教員の姿が見られるなど、授業力の向上が図られた。

《事業概要》…上記目的を実現するための事業手法を記載すること

○はなまき授業サポーター  
児童の学力を向上させるための授業サポーターの配置 7校9人配置

○学力向上支援  
外部講師による模範授業・講義の実施  
(小学校：国語及び算数を基本とし、毎年度1教科を実施)  
(中学校：国語・社会・数学・理科・英語を基本とし、毎年度2教科を実施)

市民参画の有無 [ 対象外 ]

市民協働の形態	<input type="checkbox"/> 共催	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定
	<input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 委託

活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 少人数指導を受ける学級数	学級	計画	40	40	40
		実績	60	37	
② 研修会の実施回数	回	計画	7	7	7
		実績	7	3	
③ 研修会への参加教員数（小中学校）	人	計画	250	250	250
		実績	241	73	
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	24年度(実績)	25年度(実績)	25年度(計画)
① 学習定着度状況調査の到達度（小学校）	%	目標	73.0	73.0	73.0
		実績	74.0	75.0	
② 学習定着度状況調査の到達度（中学校）	%	目標	63.0	63.0	63.0
		実績	58.0	60.0	
③		目標			
		実績			

要因分析	達成度	<input type="checkbox"/> 目標値より高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね目標値どおり	<input type="checkbox"/> 目標値より低い
本事業とあわせ各校での取り組みが、学習定着度の向上につながっている。				